

村上洋子の いきいきレポート

◆発行/稲城・生活者ネットワーク

◆〒206-0804 稲城市百村 1608-3-202

◆Tel・fax 042-379-2435

◆発行責任者/村上洋子

◆Email:inagi@seikatsusha.net

◆http://murakamiyoko.seikatsusha.me

2018年9月・12月議会報告

「子どもの安全」と 「保育の質の確保」に向けて



今年は4月に統一地方選挙、5月に改元、7月には参議院選挙と忙しい年になりそうです。安倍一強政治を続けるのか否か、国民の判断が問われる年です。

稲城市では増加する保育ニーズに対応するために、新しい保育園の増設が急ピッチで進んでいます。10月からは消費税の値上げと共に「保育の無償化」がスタートする予定です。しかし、3歳からは一律無償でも0～2歳は所得制限を設けるのか、給食の食材費の負担を求められるのかなど、詳細はまだ明らかにならず、実施する自治体にとっては課題が山積みです。

保育士不足が解消されないまま、急激に変わる子育て環境。学童保育においても人手不足の解消のために「従うべき基準の緩和」が国によって進められようとしています。子どもの安全のためによくできた職員の資格と職員数というたった2つの基準を簡単に外すべきではありません。

「子どもの安全」と「保育の質の確保」のために、自治体として何ができるかは今年の緊急の課題です。

村上洋子と稲城・生活者ネットワークは「ひとりにしない子育て・介護」をスローガンに「保育の質の確保」「妊娠期からの切れ目のない子育て支援」に引き続き取り組みます。そして、「介護離職」や「生きづらさ」の解消をめざし「だれも置き去りにしないまちづくり」をすすめ、持続可能な「緑を守るまちづくり」に挑戦します。



上谷戸大橋水車小屋付近で、子ども参加で水質調査。2018年8月

《 9月議会 》

■平成29年度決算におおむね賛成としました。

■私は補正予算の委員でしたが、「戸籍電算システム改修委託 47万6000円」について「マイナンバー制度の導入にむけて」と表現しているが、導入については法制審議会が審議中であり適当でないこと、戸籍制度の合理化は必要だとしても、マイナンバー制度と紐づける必要はなく、プライバシー侵害の危険が高まることや費用対効果の観点からも課題があると指摘されていることを質問・討論しました。

《 12月議会 》

■市長提出議案はすべて全会一致で可決されました。(住居表示に関する条例、病院事業を公営企業法の全部適用にするための条例、職員の給与や公的施設の指定管理者の指定、学校給食第一調理場建替移転工事契約に関する議案等)

■陳情は6件。そのうち3件は「親の別居・離婚による子どもへの虐待防止」に関するもので内容は昨年提出されたものとほぼ同じものでした。前回同様市の対応の改善を求める陳情には賛成しましたが、他の2件、国の法整備と学校の対応を求める陳情は、前回同様内容に無理があるという判断から反対しました。

■第7号陳情「多摩市・稲城市の最大の里山、希少動植物の宝庫、東京有数の戦争遺跡・多摩火工廠の市民利用と保全に関する陳情」に賛成しました。日米地位協定の不平等が現れている課題でもあり、市民の要望が尊重されるべきと考えます。

■第8号陳情「日本政府に対し「核兵器禁止条約」に署名・批准を求める意見書の提出を求める陳情」に賛成しました。唯一の被爆国であり、ICANがノーベル平和賞を受賞したように核兵器廃絶は世界共通の願いであると考えます。

■第9号陳情「大丸都営住宅跡地に、高齢者施設などの福祉施設開設についての陳情」に賛成しました。

9月議会、12月議会の報告をまとめてさせていただきます。レポートの折込をお願いしていた折込会社が前回2018年7月29日のレポート発行の後廃業してしまいました。新聞の購読が激減しているということです。過去には市内すべての新聞を合わせて3万部を超えることもありましたが、現在の購読部数は1万9千部に満たないようです。

市民の皆さんに情報をお届けする手段を増やすため、フェイスブックを始めました。f 村上洋子のいきいきレポートで検索してください。

